



創立総会風景



講演を行う「富士の国やまなし館」の牧房男館長

「特産品出展者協議会」の創立総会を開催

やまなしの特産品PRを後押し!!

去る9月3日に、甲府市飯田で「やまなし特産品出展者協議会」の創立総会を開催した。

本協議会は、県産品に係わる中央会傘下の組合や県産品販路開拓に熱心な企業を中心に、52の組合・企業で構成され今回の創立総会となった。

本県にも商品力の高い特産品が多数あるが、中小企業生産者によるものが多く、必ずしも販売促進策が充分に行われておらず、その良さが県内外に広く伝わっていないのが現状である。一方、最近の輸入品への不信感と、これと対をなす国産品志向の高まりから、安心で安全な県産品をより広く紹介・販売することによって、山梨に対する認知度を高め、特産品の需要拡大を図っていくことを目的として今年7月より、中央会内部に特産品市場開発チームが本格的にスタートした。

特産品チームは発足以来、より一層の販路開拓を図るために、県内のデパートや県外の「富士の国やまなし館」などで対面販売を通じ、積極的に優れた特産品の商品案内・販売を行っている。販売期間を通して消費者との交流を深めることにより、消費者の欲している商品を生産者に情報提供出来ることも、きわめて有効である。

このため中央会では、特産品の掘り起こし、県

産品の販売促進、生産者との定期的な情報交換など、これら事業をより効果的に進めていくために「やまなし特産品出展者協議会」を立ち上げることとし、県産品にかかわる中央会傘下の組合や県産品販路開拓に熱心な企業を中心に参加の呼びかけを行った。

その結果、食品39社、工芸13社の52の組合、企業から賛同をいただき、今回の創立総会となった。

なお、創立総会当日は約35名が参加、中央会内藤悦次会長が祝辞を述べた他、事業計画等について審議し、その結果、販売促進事業への参加・協力に関する事業や、販売促進事業に係わる提言及び要請に関する事業、新商品の開発に関する事業の承認を得た。

また、総会の中で行われた役員選出では、初代会長に武田與光（中央会副会長氏、副会長に新海（男）中央会専務理事）氏がそれぞれ就任した。

創立総会終了後には、富士の国やまなし館牧房男館長を招いての記念講演会が行われ、「売りたい商品づくり」をテーマにやまなし館の販売実績などを例として、基本となる方針や考えなどが話された。



祝辞を述べる中央会内藤悦次会長

中 小 企 業 タイムズ

山梨県中小企業団体中央会機関誌
平成21年度中小企業組合活性化情報

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可

10月号

2009年
第633/210号
(毎月1日発行)

9月の出来事

●時 事

- 13日 イチロー9年連続200安打
- 16日 鳩山内閣発足、小沢氏は環境相
- 17日 県内基準地価下落、再び拡大

●山梨県中央会ニュース

- 7日 下請けトップセミナー
1～3・9・15～17日
地域力連携拠点事業経営セミナー
9～15日
山梨の物産と観光展in名古屋
- 16日 中小企業団体観光物産協議会
- 18日 第5回正副会長会議

10月の予定

●全国中央会専門委員会

- 1日 労働、2日組織
- 27日 第13回郡内地区組合交流会

今月の見どころ

- 1面 特産品出展者協議会創立総会開催
- 2面 キャリア形成促進助成金のご案内
- 5面 名古屋で「山梨の食」をPR
- 6面 第52回甲府市工業振興月間と工業まつりのご案内

その他、各種事業案内、施策等々情報を掲載

発行所 山梨県中小企業団体中央会
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階
TEL 055(237)3215 FAX 055(237)3216
<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp>
e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

従業員のキャリア形成の支援を図りたい事業主の方へ キャリア形成促進助成金のご案内

本助成金は、労働者のキャリア形成を効果的に促進するため、職業訓練等を段階的かつ体系的に実施する事業主等に対して助成する制度で、訓練等支援給付金と職業能力評価推進給付金の2つの給付金があります。

次のいずれにも該当する事業主（有期実習型訓練に対する助成の場合は、（2）（3）（4）を除く。）であって、あらかじめ、独立行政法人雇用・能力開発機構（以下「機構」といいます。）都道府県センターの受給資格認定を受けていることが必要です。

- （1）雇用保険の適用事業所の事業主であること。
- （2）職業能力開発推進者を選任し、都道府県職業能力開発協会に選任届を提出していること。
- （3）労働組合等の意見を聴いて事業内職業能力開発計画を作成していること。
- （4）事業内職業能力開発計画に基づく年間職業能力開発計画を作成している事業主であって、当該計画の内容をその雇用する労働者に対して周知していること。
- （5）労働保険料を過去2年間を超えて滞納していないこと。
- （6）過去3年間に雇用保険二事業に係るいずれの助成金についても不正受給を行ったことがないこと。
- （7）訓練を受けさせる期間において、所定労働時間労働した場合に支払われる通常の賃金を支払っていること。

企業の規模について

企業の規模は、下表のとおり資本金の額若しくは出資の総額又は常時雇用する労働者数によって判断します。下表のうちいずれか一方に当てはまる企業が中小企業となります。

営利法人以外の法人（非営利法人）については、常時雇用する労働者数によって判断します。公益法人（財団法人・社団法人）・学校法人・宗教法人・医療法人・社会福祉法人・特定非営利活動法人・協同組合（農業協同組合、生活協同組合、信用協同組合等）・相互会社・中間法人等がこれに該当します。

主たる事業	A 企業の資本の額又は出資の総額	B 企業全体で常時雇用する労働者の数
小売業（飲食店を含む）	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
製造業・建設業・運輸業 その他	3億円以下	300人以下

1. 訓練等支援給付金

訓練等支援給付金は、次の①～⑤に取り組む事業主に助成する給付金です。

- ①専門的な訓練の実施に対する助成（対象職業訓練）〔▶対象：中小企業〕
その雇用する労働者に、専門的な知識・技能を追加して習得させることを内容とする職業訓練等又は新たに職業に必要な知識・技能を習得させることを内容とする職業訓練等を受けさせる事業主に助成。

②短時間等労働者への訓練に対する助成（対象短時間等職業訓練）

〔▶対象：中小企業・大企業〕

雇用している短時間等労働者に、高度な技能・知識を習得させる若しくは正社員への転換に必要な技能・知識を習得させるため、就業規則又は労働協約に職業能力高度化支援制度又は通常労働者転換制度を新たに設け、当該制度に基づいた職業訓練等を受けさせる事業主に助成。

③認定実習併用職業訓練に対する助成（対象認定実習併用職業訓練）

〔▶対象：中小企業・大企業〕

厚生労働大臣の認定を受けた「実習併用職業訓練（実践型人材養成システム）」を実施する事業主に助成。

④有期実習型訓練に対する助成（対象有期実習型訓練）

〔▶対象：中小企業・大企業〕

フリーターや子育て終了後の女性、母子家庭の母親の方々など職業能力形成機会の少ないの方々に対して、企業内における実習（OJT）と教育訓練機関等で実施される座学等（OFF-JT）を効果的に組み合わせて実施される有期実習型訓練を実施する事業主に対して助成。

⑤自発的な職業能力開発の支援に対する助成（対象自発的な職業能力開発）

〔▶対象：中小企業・大企業〕

従業員の自発的な能力開発を支援する制度（自発的な職業能力開発経費負担制度、職業能力開発休暇制度、自発的な職業能力開発時間確保制度又は長期職業能力開発休暇制度）を就業規則又は労働協約に設け、従業員の能力開発の経費を負担したり、職業能力開発休暇を与える事業主に助成。

2. 職業能力評価推進給付金

従業員に厚生労働大臣が定める職業能力検定（企業内検定は除きます。）を受けさせる事業主に助成。

◆支給額

職業能力検定の受検料の3／4に相当する額

職業能力検定の受検時間に応じて支払った賃金の3／4に相当する額

助成金を受給するための留意点

- ①本助成金には、支給額の制限が設けられています。申請額よりも、受給できる額が少ないことがあります。
- ②各給付金には、支給要件が定められています。機構が定める要件に合致していない場合は、助成金を支給できません。
- ③助成金は国の財源によるものです。不正に助成金の支給を受けた場合には助成金の返還を求め、関係機関へ通知します。助成金の適正な活用をお願いいたします。

■詳細につきましては、

山梨職業能力開発促進センター までお問い合わせ下さい。
甲府市中小河原町403-1 TEL055-241-3218

車だけじゃない個人向けエコ減税・補助金

平成21年度の税制改正における税制控除制度をはじめ、「省エネ」に関するシステム設置や住宅の改修工事に対する国や自治体の補助金制度について皆さんはご存じでしょうか？

まず、税制について。既に平成20年から実施されているローン控除がありますが、「住宅の居室の全ての窓を二重サッシに替えた。」または前記の工事に併せて床、天井、壁の断熱工事を行うことにより省エネ性能が平成11年基準以上となり、改修後の住宅全体の省エネ性能が工事前より一段階上がることになる場合、借入1,000万円を上限に1.0%の税額控除を受けることができます。さらに今年度新設された税額控除はローンに関係なく、先と同様な省エネ改修工事及び太陽光発電装置設置工事に係る費用（通常200万、太陽光発電では300万上限）の10%が税額から控除されます。なお、これらは併用して利用することはできませんが、「太陽光発電システムで発電した余剰電力の買取」が平成22年以降、今までは電力会社が任意で買取をしていたものを義務化される動きがあります。

また、買い取り額も向こう10年間は現状の2倍となる50円／kWhとされることから、自宅の改修を検討されている方、リフォームや太陽光発電システムの提案を顧客にされている中小企業の方々、注目しておくと思います。

次に国の補助金です。住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金として、対象システムを構成する太陽電池モジュールの最大出力1kWあたり7万円が補助されます。一般的な戸建て住宅の場合、概ね3kW程度が想定されますので、約21万が補助されることになります。一般的な太陽光発電システムの設置費用は、前記の3kWの定格容量のもので、約200万円とまだまだ高いものですが、要件が合えば自治体の補助金※と併用することも可能なので、検討の価値はありそうです。

※山梨県概ね10万円限度／利子負担、甲府市3万円／件、富士吉田市3万円／1kWなど

ibuki
息吹

山梨県中小企業団体中央会
情報連絡員報告

(平成21年8月分)

本県の8月の景況は、全業種のDI値では、売上高—62(前年同月比—2)、収益状況—56(前年同月比+8)、景況感—66(前年同月比+4)と製造業のポイント改善によりマイナスではあるが、売上高のDI値の改善が見られた。また、収益状況・景況感は前月と同様に非製造業のポイント改善を受け、連続してプラス水準を維持している。

業種別のDI値で見ると、製造業は、売上高—75(前年同月比+5)、収益状況は—75、前年同月比—15)、景況感—80(前年同月比—10)と、まだまだDI値は低い水準で推移しているものの、前月比で売上DI値は不変のまま推移し、前年同月比で5ポイントの改善を見せている。

非製造業のDI値は、売上高—53(前年同月比—6)、収益状況—43(前年同月比+24)、景況感—57(前年同月比+13)と前年同月比での収益状況と景況感の売上高以外でのポイントの改善が数字上では今月も見られる結果となった。

政府の月例経済報告を見ても、山梨県内の中小企業の実態とは大きく異なって、景気判断は5月から7月まで3ヶ月連続で上方修正されてきたものの、ここきて8月、9月と景気判断の据え置きをしていることから、中小企業にとっては景気の先行きの不透明感が増した感じとなった。

情報連絡員からは、依然として改善の見られない経営環境下での厳しい状況が報告されている。

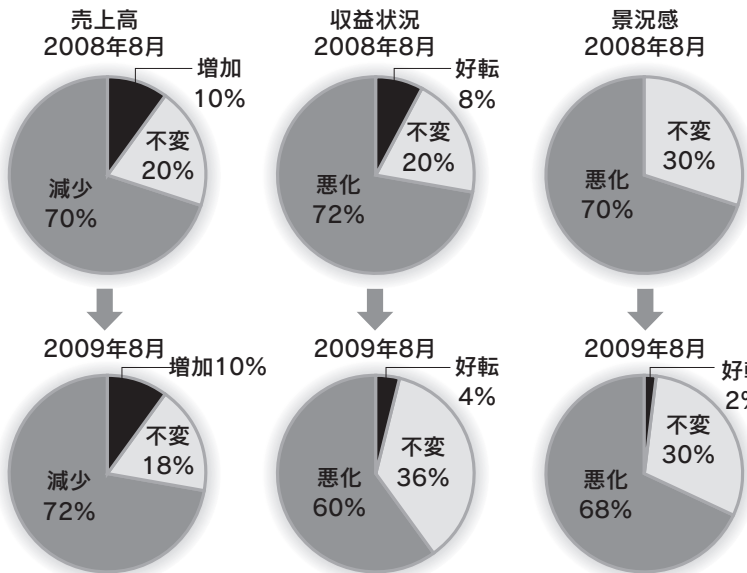
政権交代後、どのような中小企業対策が講じられるのか、即効性のある施策に期待されるところである。



データから見た

業界の動き

データから見た業界の動き (平成21年8月分)



トピックス

■今回は総選挙後に期待される施策や業界・企業において望まれる効果・要望などの意見を求めた【注】調査期間が総選挙投票日を挟んでいるため、全てのコメントが選挙結果を反映したものではありません

製造業・非製造業の全体で期待する施策、要望を見ると、「景気対策の継続」、「景気・雇用の向上」、「経済の活性化」、「消費拡大」、「地域産業・中小企業対策」が中心となった。次に業種別で懸念材料をみると製造業では「高速道路無料化による弊害」、「金融支援の充実」、「国民の負担増」、「公共事業の中止、減少」があげられ、非製造業では、「公共事業(工事)の削減」、「マニフェストの実現と弊害」、「高速道路無料化の弊害と影響」となっており、全体としては「公共工事(事業)」、「高速道路無料化」に対する懸念が大半を占めた結果となった。

また、「景気浮揚策が見えにくい」、「経済が好転するとは思えない」、「施策には期待できない」

い「全く期待していない」、「マニフェストどおりに実行出来るとは思わない」等々、期待と要望とは別に、こうした厳しい意見や感想も多く、今回の調査からも業界、企業の様々な考え、貴重な意見が聴取できた。

業界から一言

製造業

●食料品(菓子)／小売業が大規模化され、住宅地近郊の小売店が無くなり、高齢者が買い物できなくなっている。また贈答品に菓子折りを利用しなくなっている。

●木材・木製品製造／住宅需要は時的に良かったが、今後の見通しは立たない。

●家具製造／家具の販売は、住宅着工件数の伸びに左右される。住宅ローンも伸びていない。

●窯業・土石(生コン)／8月も出荷が少なく業者の倒産もあった。生コン工場も出荷減のため社内での美化作業等を行っている。(草取り、車両整備等)

●電気機器／半導体、自動車

関係は一部に活発な動きも感じられるが、持続的な回復には至らないようであり、その他95%の企業は依然厳しく先の見通しなど全く立たない状況。

●その他(貴金属)／宝飾業界は性格的にも嗜好品産業の一つであり、生活必需品に欠けている問題がある。また金融機関の締め付けがあり融資も簡単には取り付けられない。販売不振の傾向は全般的で今後の見通しは全くつかない。

非製造業

●卸売(紙製品)／製造業などの生産が戻らなければ当業界の見通しは無い。製紙メーカーの注文は落ちたまま古紙の購入も同様で、相変わらず操業短縮を行い調整している。紙製品が中国から国内に回るようになり今後も厳しい状況が恒久的に続く。

●小売(SC)／雑貨、書籍、化粧品関係は80%台となり、食品は前年度対比をかなり上

じて90%台後半とした。一方の核店舗のGMSにおいても衣料、生活関連で売り上げを大幅に落とし、食品は90%台半ばで終わった。

●小売(食肉)／この時期としては、牛・豚共に枝肉価格が史上かつて無い安値で推移。大型店との価格競争で売上高・利益ともに減少。ギフトも高級品が不振で銘柄牛は動かず。外食関係の落ち込みで業務用卸も不振。在庫がだぶついている状況。

●小売(事務機文具)／設備投資をする企業がない。OA機器の買換えのサイクルが長くなっている。

●小売(石油)／8月は中東原油が1バレル72ドル前後に値上がりした。これは、米国の経済状況の改善とドル安によるものであり、元売り各社は原油輸入価格の上昇により1円程度の値上げを行ったため、各給油所も1円程度の値上げを実施した。9月以降原油の高騰により石油製品は値上げの方向に進むと思われる。

●美容業／美容業界では低価格競争が恒常化している。お客から複合施設の注文をとれるようさらなる技術の習得をすすめている。エステ、ネイル、メイク等を価格に反映できるような価値を見直す必要がある。

●運輸(バス)／少ない仕事の奪い合いで価格のダンピング合戦が横行し、悪循環に陥っている。これから秋の観光シーズンに入るが、インフルエ

ンザの影響により旅行の中止が増えないかと心配。

●運輸(トラック)／景気動向に改善は見られない中で、例年ならばこの時期に輸送量が増加するはずの果実、野菜、水、家電品等の出荷量が低迷している。

業界の声

山梨県塗装協同組合

理事長 高野 芳造氏

業界の現況は?

仕事量は、年々減少しています。本県の建設投資額は、1992年度(平成4年度)の8,360億円をピークとして減少を続け、2007年度(平成19年度)には約5割の4,294億円となり、今後はさらにこれを下回る可能性もあります。これは、景気低迷により新規工事の発注が減少していることが一因と考えられます。ただ、塗装業界は建物や橋などのメンテナンスという仕事があるため、新規工事を主な仕事としている他の建設業界に比べると、仕事量に関してはまだ良い方なのかもしれません。しかし、最近では塗装技術や塗料の質等が改善されたことによりメンテナンス工事の間隔が長くなるとともに、不景気により企業がメンテナンスを控えるなど、業界の厳しさは一段と増えています。

受注価格に際しては、公共事業では積算等を適正に行っていたと思いますが、民間工事や大手ゼネコンの下請工事等ではダンピングが起り、適正価格での仕事の受注が難しくなっています。

今後の展開は?

今後も新規工事の発注はあまり期待できません。そのため、メンテナンス工事がメインの仕事となつてくると思われます。仕事量が減少している中、組合としては受注した仕事に対して、組合員全員で行う共同施工事業を考えていかなければいけません。また、塗装業界の重要課題として、安全教育と技術力のさらなる向上を図らなければ、企業の存続さえ危ういものとなります。

また今後は水性塗料からさらに進んだ環境対応が必要と思われます。政権交代により、新政権では温暖化ガスの削減25%(1990年比)を掲げています。そこで注目されているのが、遮熱塗料(太陽熱反射塗料)です。これは太陽熱を反射させる塗料であり、屋根に塗装すれば、屋根の温度が約15℃〜20℃ほど低下し、冷房に必要な電力量を大幅に減らすことができます。この技術の利用が今後増えてくる可能性があり、当業界ではその対応が必要と思われます。

いずれにしても、仕事量が減少している中、今後は資格や先進技術の取得を積極的にを行い、さらには企業のコンプライアンスを向上させ、通常の仕事+αを創造していかなければならないと思います。

ガラスびんのリサイクルセンターを視察

ACTIVE KUMIAI

山梨県化粧品小売協同組合女性部

山梨県化粧品小売協同組合女性部（渡辺真弓部長）は、中央会の「組合女性部研究会事業」の助成を活用して、9月9日に視察研修会を実施した。

化粧品小売の市場は、ドラッグチェーンやコンビニエンスストア、インターネットなどによる無店舗型の通信販売により若年層を中心に需要は、年々伸長している。

そこで、「地球もお肌も美しく」空ビン回収で来店機を増やそう」と題し、(株)資生堂掛川工場カレットセンターにおいて、環境対応の製品開発や包装を始めとする減量化、資生堂が2001年から開始した自社化粧品の使用済みガラスびんのリサイクルシステムについて学んだ。

日本では、飲料用のガラスびんのリサイクルは進んでいるが、化粧品用のガラスびんのほとんどは埋め立て処分されている。化粧品会社によつてガラスの組成が異なり、一定の品質でガラスびんを再生することが困難だが、資生堂では、使用済みガラスびんを自社工場で、手作業でリサイクル可能な部分のみに分別してカレットし、ガラスびんメーカーで加工されて再び資生堂の化粧品の容器として再利用されている。

工場長は、「課題もあるが、化粧用ガラスびんのリサイクルが循環型社会の仕組みとして定着することを目標に活動を推進していきたい。」と語った。



カレット工程

参加者からは、「自らの意識改革ができた。お客様にも、あえてコストを掛けリサイクルを行うことが、どれだけ大切なことか伝えていきたい。」と口々に感想が寄せられた。



工場長の説明を熱心に聞く参加者

マネジメントゲームで経営感覚を磨く

ACTIVE KUMIAI

協同組合山梨県鉄構工業会 青年部会



インストラクターの指導を受けながらゲームに取り組む青年部員

8月29日に山梨県鉄構工業会青年部会（伊部喜一郎会長・部員24名）は、中央会の青年部研修会事業の助成を受けて、ロールプレイング形式の経営マネジメント研修会を実施した。

参加した16名は3つのテーブルに分かれ、(株)上野ビジネスコンサルティングの専任講師とインストラクター2名の指導のもと、朝の8時半から夕方の5時過ぎまでかけて研修を行った。

研修は、材料購入・従業員雇用・設備投資・資金借入・製品完成・販売などの条件をシミュレーションし4年分の決算を行うというマネジメントゲーム方式で行われ、最初は同じ条件でスタートしても、設定した条件と環境変化により4年間で大きな差がつくことになった。

参加者からは、「自分で計画を立てて予想外の事態に対応することが難しい反面、思っていた以上に楽しめ、実際の企業経営に役立つ知識が得られた」と好評であった。

青年部の伊部青年部会長は「これまでの青年部の研修事業は技術講習会や先進工場視察などの技術的なテーマが多かったが、今回は経営の実務を体験する研修を行い技術と経営の両方が重要であることがわかった。青年部会員の反応も良く、今後も同様な研修を企画し会員の経営能力のアップにつなげていきたい。」と抱負を語ってくれた。



シミュレーションゲーム盤

「第26回甲州大月阿波踊り大会」開催

ACTIVE KUMIAI

大月商店街協同組合



阿波踊り風景

夏の甲州市のイベントとしてすっかり定着した「第26回甲州大月阿波踊り大会」が、8月1日（土）2万人の来場者により盛大に開催された。このまつりは1984年の夏、大月の市民まつりを目指した「かがり火市民まつり」とともにスタートし、地元商店街の大月商店街協同組合（理事長小俣孝）の一大イベントとして熱心に取り組んできたもの。当日は、まつり街道各所に「かがり火」が焚かれ、神輿愛好会が勇ましく街道を練り歩き、この日のために練習と準備を重ねてきた連による阿波踊りの乱舞が繰り広げられまつりを盛り上げた。甲州街道を全面通行止めとしたメイン会場となる商店街では、組合員のすべての商店が店内の照明を灯し、まつりの賑やかさを演出するとともに給水所を設置し、麦茶で踊り子たちの喉を潤してもてなした。この日商店街は、真夏の熱気とともに夜遅くまで賑わった。

今年で、26年を迎えたまつりではあったが、昨今の経済情勢の悪化等により開催自体危ぶまれた。経費節減運営方法や催しの見直しにより一部中止したイベントもあったが、240名のボランティア参加があるなど行政、地域住民が一体となった、手作り感あふれる新たなスタイルのまつりとなった。



元気に踊る子供たち

「例年と違い、このヶ月は組合員は協力要請と準備で仕事にならなかった。しかしかえって組合の連帯感が強まりました。」と小俣理事長は振り返る。



販売に努める特産品チーム職員

本会の特産品市場開発チームは、9月10日(木)～15日(火)にかけて名古屋市中区にある丸栄デパートで開催された「山梨の物産と観光展(名古屋)」に参加し、菓子類、漬物、麺類などの特産品を主婦層を中心とする来場者に販売し、「山梨の食」のPRをした。

この事業は、山梨県と(社)やまなし観光推進機構が主催して、中京地区の消費者に本県の特産品や観光地を紹介し、本県への誘客を図るために開催するものであり、今回で28回目の開催。山梨が誇る貴石アクセサリや織物製品、印伝、印章などの民・工芸品やワイン、ぶどうなどの県内企業47社が出展した。

丸栄デパートがある「栄地区」周辺は、名古屋地区における繁華街、ビジネス街の古くからの中心地。近くには松坂屋本店、名古屋三越店もあり、デパート間の競争はし烈。大型店は消費不況の真っ只中にあり、売上は対前年比マイナスが続いており、集客に四苦八苦の状況が予想された。

このような厳しい経済環境の中での出展であったので、事前に、主催者からの出展情報収集に努め、協議を重ねた結果、来場者は中高年の主婦層が多数を占めることから、日常的に消費する食品類を中心

に出展販売した。

出展商品は、郡内地方のうどん、ほうとう、そばなどの麺類、カリカリ小梅漬、小梅干し、なめ味噌などの漬物、落雁などの代表的な干菓子の袋菓子、青えんどう豆を原料とした土産用の和菓子の販売を行った。土産菓子は過去5回の販売実績があり、固定客があるため、試食販売に苦勞することはなかった。低価格の4個入りに人気が集集中し、最終日には欠品が出るほどの売れ行きであったが、15個入化粧箱の販売は極めて鈍かった。

麺類は、一番安い200円の「うどん」や「ほうとう」に人気が集集中。ほぼ、完売の状態となった。もともと、中京地域では「味噌煮込みうどん」が名物として地域に定着している。その食感は「郡内地域のうどんやほうとう麺」に酷似していることから違和感なく受け入れられた。

袋菓子「落雁」は、昔なつかしいお菓子であり、中高年の主婦層を中心に買い求めるお客様が予想以上に多かった。2袋500円と購入しやすい価格設定をしたことも売り上げ増に貢献した。「カリカリ小梅漬」は、売上高は他の商品と比較するとまだまだ見劣りするが、山梨の特産品として必要不可欠の商品になりつつある。

不況の影響は深刻で、消費者の購買姿勢は厳しく、主に安価で日常的に消費する商品に目が向けられていた。やまなし観光推進機構によると物産展全体の売上高は3,422万円で対前年比△6.6%の売上減となった模様。初出展の本会が、目標売上高を達成することができたのは、チーム職員の熱心な販売姿勢によるものと思われる。



販わう物産展・食料品販売コーナー

名古屋市内デパートにおいて 特産品販売！

思いやり かたちにしませんか パートタイマーの退職金を 国がサポートします

中退共制度は短時間労働者が
特に加入しやすい退職金制度です

◎2,000円・3,000円・4,000円の掛金月額でも加入できます
(一般従業員は5,000円からです)

◎新規加入助成に上乗せがあります

<ご注意>

申込の際には、加入申込書に短時間労働者(1週間の所定労働時間が、同じ企業に雇用される通常の従業員より短く、かつ30時間未満である従業員)であることの証明書が必要になります

※ 証明書とは、下記のいずれかのコピーです

- ・労働条件通知書(雇入通知書)
- ・労働契約書

●くわしくはホームページをご覧ください

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

中退共制度は中小企業で働く従業員のための
外部積立型の国の退職金制度です

お気軽にお問い合わせください

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒105-8077 東京都港区芝公園1-7-6
TEL(03)3436-0151(代表) FAX(03)3436-0400

山梨県中小企業団体青年中央会

平成21年度 青年部代表者会議開催

9月16日(水)山梨県中小企業団体青年中央会(会長:小澤浩)は、会員青年部代表者との意見交換などを目的に代表者会議を開催した。

この会議は、山梨県中小企業団体青年中央会の活動目的が青年部間のネットワークの強化と青年部の活性化・会員青年部の個企業に役立つ情報交換であり、この活動をより向上させるためには会員の意見を反映させることが不可欠であることから実施された。

会議には、各青年部の代表者を中心に17名が参加し、事前に行ったアンケート結果を元に、各青年部の運営状況及び例年11月頃に実施する青年部県大会の開催概要等について意見交換がなされた。

各青年部の運営状況については、多くの団体が講演会や視察研修などの教育研修を主として行っているものの、会員が減少傾向にあるため事業が停滞しているとの意見が出された。県大会については、著名な講師又は政治家などによる講演会等を行う旨の意見が多く出された。

また、会議の最後には小澤会長より11月に予定されている青年部県大会や各種事業について、代表者会議にて出された意見を元に行う旨を示し閉会した。

アンケートの結果について

1. 会員数は?
全31青年部の合計が897社
2. 昨年度どのような事業を実施しましたか?
(複数回答可)
①講演会……………14団体
②視察研修……………12団体
③その他……………13団体
(技術研修会、ボランティア等)
④行っていない… 2団体
3. 定例会は開催していますか?
①開催している……………18団体(2～12回)
②開催していない… 6団体
4. 青年部の会計はどのようになっていますか?
①単独会計……………13団体(～300万円まで)
②親組合内に予算化……………10団体
5. 青年部県大会の内容について選択してください
①講演会の開催……………10団体
②会員青年部員による事例紹介…………… 6団体
6. 青年部として行うべき事業は?(複数回答可)
①講演会・視察研修等…………… 18団体
②異業種との交流……………12団体
③親会(協同組合等)のサポート……………12団体
④その他…………… 2団体
(青年部内外のネットワークの構築)

平成21年度 第2回ものづくりの 魅力発見ツアーを開催



会社の概要など説明を受ける参加者

本会では、9月16日「第2回ものづくりの魅力発見ツアー」（主催：ジョブカフェやまなし、実施機関：中央会）を開催し、県内有力企業である㈱オーテックメカニカル・浅川熱処理㈱・ちぼりキネヤ㈱の3社を訪問先として、雇用・能力開発機構山梨センター産業技術科の職業訓練生及び求職者17名が参加した。本事業は、山梨労働局から委託された若年者地域連携事業

の一環として実施したもので、製造業の現場を「見る」経営者や技術者から「聞く」ものづくりの現場を通じて魅力を「実感」することを主眼とし、若者が、世界でも勝負できる先端技術・知識を習得し「ものづくり」についての興味や意義を理解してもらい、これらの企業への雇用機会を得るための就職活動を支援することを目的とし、年に2回実施している。

訪問先の3社は、いずれも元気なものづくり企業であり、地球環境や社会貢献活動など積極的に取り組んでいる。また、将来を担う若い技術者の人と教育に前向きな企業風土をもって価値観を共有してホンモノをつくる会社である。

参加者は、先ずオリエンテーションを行い、各企業の担当者から会社概要・主要事業〔①㈱オーテックメカニカル（自動組立機、自動検査機等の高速機械の設計・製作事業）②浅川熱処理㈱（エンジンバルブコッタ浸炭焼入焼戻し処理、トラック用のインナーナット、ホイールピン熱処理加工）③ちぼりキネヤ㈱（菓子及び食品の製造販売事業）〕の内容・経営理念・雇用形態・雇用環境等の説明を受けた。その後、工場見学では最新鋭の産業機械やコンピュータ制御機器を導入した先端技術による熱処理加工や食品事業に従事する社員の作業などの労働環境等を見学した。

参加者は「地方にも世界と競争できる会社があることに驚いた。」「ものづくり企業への理解と認知力がアップした。」「などの感想もあり、新たな発見に気づき体感したようだ。



菓子製造の工程を見学する参加者



㈱タナベ経営
取締役 ネットワーク本部長
中東 和男氏

中央会では、9月の第1、3週の6日間にわたって経営セミナーを開催し、県内6会場（鯉沢、山梨、甲府、都留、韮崎、甲斐）において、延べ144人の参加を得た。このセミナーは、平成21年度地域力連携拠点事業（※1）の中でパートナー連携を組んでいる山梨県民信用組合と共同開催で行われ、同組合の得意先企業をはじめ地域の経営者等を対象に日々の会社経営に役立つ内容で定期的に開催されるものである。今回は、㈱田辺経営より中東和男先生、西山英男先生を招き、「これがわかれば会社は伸びる」～自分の会社を診る眼を養い、この時代を勝ち抜く極意を学ぶ～のテーマで講演して頂いた。

講演では、今取り組まなければならないこととして、キャッシュフロー経営を目指し、現金・売上債権・在庫管理の考え方や仕事を取るために何をしなければならないかについての説明、成長する会社の条件としての理念・ビジョン・現状把握・目指すべき市場などについて説明があった。講演概要は次の通り。

①基本は現金商売・売上債権の回収促進・在庫管理の徹底・仕入交渉などによる自己金融力の強化、②受注担当のレベル向上・プロセス管理の徹底・行動量重視・スピードアップによる受注確保、③+αの商品サービス・自社の強みの把握・粗利益率での受注管理によって戦場を決める、④理念・中長期ビジョン・戦略・PDCAによる会社の成長の方向性、⑤その他、市場把握、ニッチトップを目指す・評価と分配のシステムなど。

この不況下を生き抜くためには、まずは会社の現状を見つめ直し、現金商売の基本に立ち、内から利益を追求することが重要であり、また、受注獲得に向け、明確な理念・ビジョン・戦略を持ち行動していくことにより道が開けると述べられた。

時に厳しく事例を交えながらわかりやすく熱のこもった講演を聞いた参加者は、終了後のアンケートでも約2時間という講演に対して一応に満足して取り組むべき課題を見つけて帰られたことが見て取れた。

中央会では、今後もこのような経営セミナーを開催する予定であり、また会社の様々な経営相談を受け付けています。

- ※1 平成21年度地域力連携拠点事業
- 「中小企業元気力アップ事業」中小企業庁・経済産業省委託事業で地域の中小企業
- が直面するさまざまな課題に対して、連携拠点到指定された中央会をはじめ支援機
- 関がワンストップで決め細やかな経営相談・支援を行うもの。



熱心に傾聴する参加者

避難訓練を実施

9月9日に中小企業会館では、9月1日の「防災の日」があるこの時期に毎年行っている防災訓練を行った。

今回は大規模地震を想定したもので、大規模地震発生時の対応や、指定場所までの避難経路の確認、各団体ごと被災状況の把握など一連の連絡体制を確認した。

午前9時のサイレンを合図に訓練はスタート。会館内に入館している3団体約100人の職員が指定の避難場所に集合し、今回の会館管理組合である中央会飯野事務局長に避難状況を報告した。

その後消火訓練を行い、実際に会館内に設置されているホースを使用し行われ、各団体の代表者3名により放水の仕方などを体験した。

また、甲府地区消防本部の職員3名による、同会館内に設置されているAED（体外式自動除細動器）の使い方講習会も行われた。

このAEDが緊急のとき、そばにあるか無いかで心停止状態に陥った人の救命率や予後の回復の違いなどの状況の説明を受けた。また、参加した職員が実際にAEDを使用している音声案内に従った使用方法を体験した。



AEDを体験する職員

訓練を終了したあと、会館内の職員有志10名の草取りやゴミ拾いなど環境美化活動を行った。



緊張の中行われた

第52回甲府市工業振興月間と工業まつりのご案内

甲府市工業協会は、会員10部会176社で県内中核業者として、甲府市の工業振興に努力しており、今年は第52回甲府市工業振興月間と工業まつりを実施します。

内容につきましては、会員事業としまして県民の日のイベントに参加し、昨年に続くピンリボン運動と、各部会の特徴を生かしたものづくり体験を開催いたします。

ものづくり体験・ピンリボン運動

日時 2009年
11月14日(土)～15日(日)

場所 **小瀬スポーツ公園**
(当日は県民の日のイベント開催中)

お問い合わせ 甲府市工業協会事務局 TEL.055-237-5908

主なブース内容

- 食品部会…あわびの貝設置物作り(両日)
エコキャンドル作り(14日)
- 研磨宝飾部会…宝石たから探し(14日)
- 家具・インテリア部会…木工体験(14日)
- 印刷・生活関連部会…オリジナル子ども用名刺・大判カレンダー作り(15日)
- 繊維部会…エコバック作り(15日)
- ピンリボンブース…パネル展示・募金箱の設置(両日)
- 事務局…工業部会のあゆみパネル展示(両日)



情報BOX

第61回中小企業団体全国大会を千葉市で開催

毎年1回、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、その決意を内外に表明するとともに、各分野別専門委員会からの中小企業者の要望等の実現方に努めるとともに、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、安定的な振興発展を期して開催されるものです。

第61回の開催となる今年度は、11月19日(木)に千葉県「幕張メッセ」で『激動のとき 今こそ発揮 団結の力!』をキャッチフレーズに開催される予定で、本県からは約70名の参加を計画しているところです。定員になり次第締め切らせて頂きますのでお申し込みはお早めをお願いします。

参加旅程(予定)

日帰りコース

19日▶▶8:00アピオ発—甲府昭和IC(中央道・首都高)—築地すしざんまい(寿司の昼食)—
全国大会参加(幕張メッセ)—(首都高・中央道)甲府昭和IC—アピオ解散20:00

1泊2日コース

19日▶▶8:00アピオ発—甲府昭和IC(中央道・首都高)—築地すしざんまい(寿司の昼食)—
全国大会参加(幕張メッセ)—(千葉東金道)横芝光IC—犬吠埼京成ホテル(宿泊)18:15

20日▶▶犬吠埼灯台など散策 9:30ホテル出発—犬吠駅(銚子電鉄乗車)—銚子駅—
佐原香取IC(東関東道)—成田IC—成田 旅館「扇屋」(うなぎの昼食)—成田山 新勝寺—
宮里IC(首都高・中央道)—甲府昭和IC—アピオ解散18:00

問い合わせ 詳しくは 中央会 観光課 古屋まで



ストップ温暖化!!

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起きているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリグストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任もって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)
(社)全日本トラック協会
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

山梨中央銀行

山梨中銀 創業支援ローン

ファインスタート

ヨ-イ スタート!

金利優遇あり

- 最大1,000万円
- 無担保でのお取扱い
- 第三者保証人不要

※審査結果によっては、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご利用は山梨中央銀行の窓口
またはフリーダイヤルへどうぞ

0120-201862

1組合1組合士

中小企業組合検定試験願書受付が始まりました!

いま、中小企業組合はガバナンスの充実が求められており、組合員はもちろん、広く社会の信頼を高め、社会的責任を果たすには、組合運営の経験と専門的知識を備えた事務局が必要です。ぜひ組合に『中小企業組合士』を置きましょう。

検定試験概要

試験科目 組合制度、組合運営、組合会計の3科目
※一部の科目について合格点を得た場合には、その後に行われる試験においては申請により3年間はその科目の実験が免除されます。

試験日 平成21年12月6日(日)

試験地 全国20都市

札幌・青森・秋田・仙台・さいたま・東京・長野・
静岡・名古屋・大阪・岡山・広島・松江・山口・
高松・福岡・長崎・大分・鹿児島・那覇

受験料 5,000円(一部科目免除者は3,000円)

受験申込 本会が配布する願書に受験料を添えて、
本会へお申し込み下さい。

願書受付 平成21年9月1日(火)～10月15日(木)

合格発表 平成22年3月1日(月)

中小企業組合士への手続

試験合格者には、山梨県中小企業団体中央会
から組合士認定申請についてご連絡致します。

お問い合わせ先 本会担当指導員又は組織課まで

やる気と潜在能力のある 中小企業を応援します

YAMANASHI GUARANTEE



山梨県信用保証協会

本 店 甲府市飯田二丁目2-1
TEL (055) 235-9700(代)

富士吉田支店 富士吉田市下吉田1832
TEL (0555) 22-0992

インターンシップ体験記①

●都留文科大学 社会学科 現代社会専攻
3年 望月 しおり

8月31日から9月4日まで山梨県中小企業団体中央会でインターンシップを受けさせて頂きました。この5日間、「働く」という空間と一緒に居させて頂いたことで「就職」に対する意識が変わりました。「仕事とは、日々人に評価され、また自分も人を評価するものである。仕事の中での“会話”は“自分の意志を伝えること”を意味し、自分の存在を認めてもらえなければ、評価すらしてもらえず何もはじまらない」など、指導して下さる言葉の一つひとつに、自分の“働く”ことに対する意識の甘さを痛感しました。

中央会が行っている事業を教えて頂いたり、中央会を通して様々な業界を見せて頂くことで、「こんな企業があるんだ！こんな面白い事業をしているんだ！」という発見があり、今まで自分が見てきた世界、考えてきた世界の狭さを実感させられました。何事も広い視野を持つことが大切だと学びました。学生生活では社会人の方にお話を伺う機会があまりなかったため、今回の経験は刺激的で、考えさせられることも沢山ありました。この5日間で学んだことを活かすのも、無駄にするのも自分自身です。常に学ぶ姿勢を忘れずに、成長していけたらと思います。中央会や各業界の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。



安協加入で魅力的な特典を

～サービス内容は～

- ◎交通事故による損害賠償等についての弁護士無料法律相談が受けられます。
- ◎Eメールによる交通安全情報が受けられます。
- ◎交通事故被害者に見舞金が贈呈されます。
- ◎滑り止めのついた運転免許証ケースを贈呈します。

財団法人山梨県交通安全協会

TEL 055-280-5550
E-mail ankyou@yln.or.jp

インターンシップ体験記②

●山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科
杉山 美穂

私は、9月7日から11日までの5日間、山梨県中小企業団体中央会でインターンシップを体験させて頂きました。今回の研修では、様々な業界の方から話を聞くことができ、これまで知らなかったことを知る良い機会となりました。同時に、山梨県に住んでいながら山梨県のことを知らない自分の知識の少なさに気付かされました。また、社会で働くことの大変さや厳しさを感じさせられ、アルバイトの経験しかない私にとってとても良い刺激となりました。

中小企業組合の方々から直接話を聞くということは、普段の生活の中ではなかなかできない貴重な体験でした。業界の代表者の方々は、それぞれの業界の将来を考え、運営を行っていることがわかりました。

今回の研修では、人とのコミュニケーションや、常に向上心を持って取り組む姿勢が大事であると学びました。インターンシップを経験することで、就職に対する意識が高まり、組織の中で働くことの雰囲気やイメージを掴めたと思います。

今後は、5日間の研修での経験をこれからの学生生活や就職活動のなかで役立てたいと考えています。お世話になった中央会や各業界の皆様、本当にありがとうございました。



編集後記

今年もう10月…3/4が終わってしまいました。

年齢を重ねると月日の経つのがなんとまあ、早いことか…。

それは日々充実し、慌しく過ごしている証拠かもしれませんが…。

でも、こんな時こそもう少しゆとりを持って一日一日を大切に過ごせば良いのかもしれないね。

●ご意見・ご要望は、
中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215
FAX 055-237-3216
E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

中央会からのお知らせ

専門家の知恵を利用しませんか？

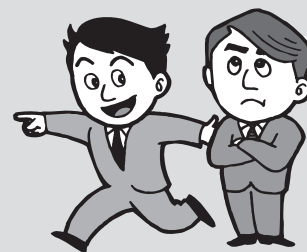
組合および会社、店舗などが直面している様々な課題の解決のために、専門家（弁護士・税理士・社会保険労務士・大学教授・講師など）を活用した支援を行います。

▶中央会が対象経費の2/3を補助いたします。（上限有り）

『個別専門指導事業』（総経費@2万円～6万円程度）

- 指導対象 会員組合及び組合員企業
- 指導内容 専門家による個別相談、講習会、診断
- 対象経費 専門家謝金

- この支援の利用は、必ず組合の担当者にご相談ください。
中央会にて審査の上、専門家とともに計画・実施をお手伝いします。



お知らせ